



MIKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

VOL.49

2013. 10

平成25年10月

三木市国際交流協会

こども英会話 Kid's English in Miki

2013/8/25 三木山森林公園



子どもたちのこんな英語が会場のあちこちで聞かれます。8月25日、三木山森林公園で「こども英会話」が催されました。あいにくの大雨でしたが、ゲストや子どもたちの熱気で雨雲も退散したのか、気が付くと青空。(公財)兵庫県国際交流協会の助成金を活用し、NPO法人小野市国際交流協会との初合同事業でした。

開始早々からパワー全開で、自己紹介をされる外国人ゲストたちの名前を大声で繰り返す子どもたち。US、UK、インド、カナダ出身のゲストとボランティアの方々のご協力をいただき、英語のみならず各国の文化を知る良い機会となりました。

ランチタイムを共有してのグループワークで一層仲良くなり、最後の英語発表は完璧でした。「天気之歌」「5匹のサルたち」など、趣向を凝らした内容に大盛り上がりでした。楽しみながら英語を学習するという意図は子どもたちにも伝わったと感じました。

最後はクリアファイルに外国人のサインをもらいました。「Can you sign this now?」「Sure!」多言語で書かれたサインは宝物として大切にされることでしょう。「High five!」「Gimme ten!」とタッチして再会を約束しました。子どものころに外国語で異文化交流を体験することは、将来の多文化共生に大いに役立つだろうと、彼らの高揚した顔を見ながら思いました。



F 9月に着任したALTのSamantha サマンサです。

G Victoria ヴィクトリアです。よろしくお願いします。

「こども英会話」に参加して

最初の「じゃんけんゲーム」で、英語で自己紹介をしました。自分では、上手に言えたと思います。次に「Thief and Police」と言うゲームで、物凄く盛り上がりました。グループ発表では、僕はCグループでアメリカ人のエリオ先生と一緒に「What can you do?」というタイトルでチャンツや歌を歌いました。少し失敗した所もあったけど、最後まで頑張れてうれしかったです。最後に、外国の先生方のサインをファイルに書いてもらいました。すごくいい記念になりました。

林 剛玄(4年生)

私は初めて「キッズイングリッシュ」に参加しました。初めは少し緊張して「嫌だなあ」という気持ちも、ちょっぴりでしたがありました。けれども、楽しいゲームのおかげで、そんな気持ちはどこかへ行ってしまいました。

もう6年生なので、来年は参加できません。今回このキッズイングリッシュで改めて解ったことがあります。それは、英語は楽しいということです。これからも英語の学習を頑張ります。外国人に出会ったら、進んで話しかけるようになりたいと思います。

麻木 里夏(6年生)



今年は小野市との合同事業となり、生徒やゲストティーチャーが増えたせいか、今までに増して活気の溢れるイベントでした。子どもたちは学校でも見たことのある先生を見つけて大喜び。膝の上に乗ってなついているお子さんも見かけました。

イギリス、インド、アメリカの紹介があり、子どもたちが興味深く様々な質問をしていたのは印象的でした。各班の英語での発表では練習は元気にできていたのに、本番で緊張してしまったという声を聞きました。これも**国際人の第1歩**、きっといい経験になったことでしょう。

A1357◆岩村 由里(アシスタント)

私は8月に三木市に来たばかりのALTです。「キッズイングリッシュ」を楽しみにしていました。

たくさんのお子たちとイギリス・インド・アメリカの発表を見ました。**ヴィクトリア先生**がウオーリーなどアニメのキャラクターのビンゴをしました。**ジャンハヴィ先生**からインドの言葉を習いました。**アンディ先生**がアメリカの動物を英語で教えてくれました。

私のグループ発表は、「Daily life in America」でアメリカの日常生活を、動作をつけて英語で紹介しました。とても楽しかったです。

A1480◆サマンサ チャン(ゲストティーチャー)

みっきい夏まつり

2013/7/27

盆踊りは夏の風物詩。日本文化を体験しました。



アフリカダンス

2013/7/21



アフリカ各地で踊られる祭りのダンス。民族衣装姿の講師を真似ながら、アフリカンビートを体感しました。

「絶対にしゃべらないでくださいね！ボディランゲージはOKです！」講師のこの指示で始まったワークショップ。各グループには、トランプとルール書が配られました。

「さあ、本番です！」約1時間の沈黙中、目で促す人、机を叩いて合図をする人など様々な行動が見られ、あちこちで忍び笑いが起こっています。勝者は隣のグループに移動し、違うメンバーとゲームをすることを数回繰り返し、終了！

「はい、みなさんどうでしたか？」の問いかけに、せきを切ったような発言でフィードバックは大盛り上がり。

実はグループごとのルールに微妙な違いがあり、移動した勝者、迎える残留組、それぞれが違和感を持ちながら進行していました。概ねニューカマーは、戸惑いながらもそのグループのルールに従って場に馴染もうとしましたが、俺様ルールを通した方もいました。「多勢に無勢」のこのシミュレーションゲームは、**現地の方法を学び、理解し、感情処理をし、適応するということを体感する**ものでした。海外に赴く場合や、日本で外国人住民と交流する場合にも役立つ貴重な経験となりました。



「講座に参加して」

A743◆神澤 恵美

国際交流に興味はあるけれど、英語は苦手だし、難しいのではないのかと少し不安そうな主人と一緒に参加させていただきました。

開始早々のグループアクティビティでは、**言葉を使わないトランプゲーム**をし、勝者は他のグループに移動しました。その勝者が加わると、部屋の雰囲気が変わり始めました。ジェスチャーや表情だけでは、コミュニケーションが取れないグループもあるようでした。

私も違うグループに移動した際に、「目からウロコ」の体験をしました。良かれと思って出したカードが、周りの人たちにとって不利なカードだったと気づいて、申し訳ない気持ちになったと同時に、**勇気を出してアクションを起こさないと何も始まらない**とも思いました。

グループごとにルールが違うということに気がつかず、我を通そうとしてしまい、自文化を反省しながら、異文化コミュニケーション学の歴史や必要性のレクチャーを受けました。まさしく「**気づき**」の時間でした。

主人は異国でも順応できるかも…と新たな発見があったようです。2020年夏季五輪の東京招致が決まり、ますます異文化コミュニケーションの重要性を感じています。

異文化間トレーニングの目的

- 文化背景の異なる人どうしの交流において生じがちな諸問題についての理解を深める。
- より効果的にコミュニケーションする方法を考察し、それを具体的に使いこなせるように人々を訓練する。

異文化への適応の4段階

第1段階 無意識で無能力の段階

異文化の人の行動を間違って解釈し、しかもその間違いに気づくことができない。

第2段階 気づくことはできるが、それに対応することができない段階

異文化の行動を間違って解釈したことに気づいているが、それに対して何もできない。

第3段階 気づくことができるし、それに対して対応することもできる段階

異文化の人の行動について考え、有効なコミュニケーションのための対応について意識することができ、自分の行動を調整することができる。

第4段階 無意識で対応できる段階

効果的なコミュニケーションのためのスキルに習熟し、無意識のうちに適切なコミュニケーション行動をとることができる。

初めての日本語教え方教室

2013/5/11~7/20 6講座・三木市立教育センター
飯島有美子氏 (関西国際大学人間科学部准教授)

研修に参加して

A489◆宮崎 和歌子

「ああ、そうなんだ！」これが私の最初の感想です。

日本人の私が当たり前のように思っていることにこそ、落とし穴がありました。学習者の気持ちが変わった様子が気になっていましたが、わかってはいなかったのです。

この大事なことに気がついてからは、視点が変わりました。「こんな場合は？」「この時は？」たくさんの具体的な例をクラスのみんなで共に考える時間があり、有意義でした。**外国人住民と日本語を学習するということは、自身も得ることが多い**と改めて思いました。



Events&Meeting (10月~3月)

10月9日(土)	10:00	市役所7F・会議室	金物まつりバザー準備
10月16日(水)	10:00	市役所7F・会議室	金物まつりバザー準備
10月23日(水)	10:00	市役所7F・会議室	金物まつりバザー準備
10月26日(土)	14:30	青山公民館	こども異文化交流(外国人と小学生の交流)協賛
11月2日(土)・3日(日)	全日	文化会館周辺	金物まつり国際チャリティーバザー
11月~12月		関西国際大学	ボランティア研修会「日本語教え方教室」
12月14日(土)	13:00	みっきいホール	2013クリスマスパーティー in MIKI
1月			広報誌MIA50号 発行
1月26日(日)	13:00	教育センター	第3回国際理解講座 JICA青年海外協力隊員
2月11日(火・祝)	13:00	三木山森林公園	COOL MIKI「英語de落語」「日本語de発表」
2月23日(日)	10:00	南交流センター	国際料理教室「ネパールの家庭料理」
3月			広報誌MIA51号 発行
3月9日(日)	10:00	教育センター	ことばの教室ジョイントミーティング
3月17日(月)	13:00	特別会議室	第2回理事会

PEOPLE LIKE US! ~外国人市民からのメッセージ~



FMみっきい 76.1 MHz

毎月 第1・3火曜日 12:15~12:20
(再放送: 第2・4火曜日)

三木市での経験、母国の紹介など
外国人市民の意見にご傾聴ください。

10/1	市川 佳佳 (中国出身)	10/15	市川 婷婷 (中国出身)
11/15	鄭 香蘭 (中国出身)	11/19	王 勃彰 (台湾出身)
12/3	李 洪涛 (中国出身)	12/17	ナイーブ アブドゥル (シリア出身)

国際チャリティーバザー

金物まつり官公庁ブース
ボランティア募集中!!



11/2・3 9:00
文化会館周辺

クリスマスパーティー in MIKI



12/14 13:00
みっきいホール

「英語de落語」 「日本語de発表」



2014/2/11 13:00
三木山森林公園・音楽ホール

編集あとがき



「みっきい夏まつり」では浴衣姿の外国人が地元の方に暖かく迎えられ、総おどりで日本文化を体験しました。共催事業では共にダンスに興じました。異文化間コミュニケーション学のワークショップでは「異なる文化」を体験するシミュレーションゲームをし、諸問題を実体験しました。

三木市には約1,000人の外国人が住んでおられます。今後も多文化共生社会を推進するために活動しますので、ご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

編集・発行

三木市国際交流協会
Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30 (市民ふれあい部 市民協働課内)

TEL (0794) 89-2318

FAX (0794) 82-9755

[E-mail] kokusai@city.miki.hyogo.jp

[ホームページ] <http://www.city.miki.hyogo.jp/>